



# 消防大学校だより

## 航空隊長コースにおける教育訓練 ～感謝・尊敬・謙虚～

消防大学校では、航空隊長コース第20回（令和2年11月30日から12月11日まで）を、約2週間の日程で実施しました。

本コースは、緊急消防援助隊の航空部隊の隊長等に対する教育を主眼として、航空隊の運用・活動統制、安全管理、広域応援等を学び、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的としています。

今年度については、計74名の消防防災航空隊の隊長、副隊長、操縦士及び整備士が受講しました。

本コースでは、「航空法規」、「航空工学」などの基礎的知識をはじめ、消防庁幹部職員による「航空消防防災の現況」や「消防広域応援の対応」の講義、自衛隊及び海上保安庁による「航空運用」に関する講義、国際山岳医による「医療救助の実態」のほか、自らが経験した活動事例について個々に発表し、討議及び研究を行う「災害活動事例研究」や、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震における航空受援体制及び令和元年台風19号並びに令和2年7月豪雨活動など全国の航空隊から応援を受けた被災地防災航空隊の隊長を講師に招き、受援体制や活動事例について講義していただきその実態について学びました。



航空受援シミュレーション訓練

また、校外研修では、埼玉県防災航空センターに視察研修を行い、他県の防災航空隊の取り組みや装備等を学ぶことで自隊に持ち帰りたいと学生から多くの意見をいただきました。

研修を終えた学生からは、「新型コロナウイルス感染拡大の中、今までのような生活様式ではないものの全国



災害事例研究発表



校外研修（埼玉県防災航空センター）

の消防防災航空隊の方と貴重な情報交換や親睦を深めることができた。」「航空業務における各隊の共通する諸問題、航空指揮者としての課題等を十分に討議することができた。」「安全管理の重要性や緊急消防援助隊における受援体制が学べた。」等の意見が寄せられました。

今後は、消防大学校で修得した幅広い知識を糧にし、安全運航を第一に、機動力を活かした消防防災航空隊の充実強化と大いなる活躍が期待されます。

そして、今回このような新型コロナウイルス感染拡大中、本コースが開催できたことに学校及び各都道府県関係者並びに学生を快く送りだしていただきましたご家族に感謝申し上げます。

### 問い合わせ先

消防大学校教務部  
TEL: 0422-46-1712